

事業報告書

3 事業報告書

事業報告書

令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日）

区分	項目	引 受 (加 入)							達成率	前年度対比
		計 画			実 績					
		引 受 (加入) 数	単位当 共済金額	共済金額	引 受 (加入) 数	単位当 共済金額	共済金額			
農作物	水 稻	ha	円	千円	ha	円	千円	%	%	
	麦									
	計									
果樹	りんご	総 合	a		a					
		特 定								
		計								
	なし	総 合								
		特 定								
		計								
計										
畑作物	大 豆	ha	円		ha					
	ばれいしょ									
	そ ば									
	蚕 繭	箱			箱					
	計									
園芸施設	棟			棟						
任意	建 物	棟	千円		棟	千円				
	農機具	台			台					
	保管中農産物補償	口			口					
	計									

(備考) 麦、果樹：引受は令和5年産

端数処理の関係で、計と積上げは必ずしも一致しない（以降同じ）。

区分 項目		被害又は事故					
		本年度		前年度		比較	
		被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金		
農作物	水 稲	kg 1,185,907	円 207,326,227	kg 0	円 0	% —	
	麦		26,781,650		7,279,126	367.9	
	計		234,107,877		7,279,126	—	
果 樹	りんご	総 合	kg 4,477	231,930	kg 2,061	227,480	102.0
		特 定	0	0	123,122	13,136,110	0.0
		計	4,477	231,930	125,183	13,363,590	1.7
	なし	総 合	12,270	1,026,920	11,606	1,230,760	83.4
		特 定	0	0	552,299	72,625,660	0.0
		計	12,270	1,026,920	563,905	73,856,420	1.4
計	16,747	1,258,850	689,088	87,220,010	1.4		
畑作物	大 豆	kg 57,157	10,625,250	kg 354,574	75,195,831	14.1	
	ばれいしょ	59,886	2,515,212	73,906	3,067,098	82.0	
	そ ば	1,955	344,080	0	0	—	
	蚕 繭	42	102,900	51	123,930	83.0	
	計		13,587,442		78,386,859	17.3	
園芸施設		棟 661	54,890,809	棟 1,041	68,597,786	80.0	
任 意	建 物	棟 6,469	4,263,494,395	棟 4,100	2,329,007,750	183.1	
	農機具	台 486	87,006,126	台 598	126,994,909	68.5	
	保管中農産物補償	kg 0	0	kg 15,000	2,880,000	0.0	
	計		4,350,500,521		2,458,882,659	176.9	

(備考) 麦、果樹：被害は令和4年産、畑作物：前年度は令和2年産、本年度は令和3年産
水稲：本年度は令和3年産(41,738,652円)と令和4年産(165,587,575円)の合計額

区分	項目	引 受 (加 入)								
		計 画			実 績			達成率	前年度対比	
		引 受 (加入) 数	単位当 共済金額	共済金額	引 受 (加入) 数	単位当 共済金額	共済金額			
頭	千円	千円	頭	千円	千円	%	%			
家畜	死亡 廃用 共済	乳用牛	21,171	200	4,224,941	19,582	239	4,685,577	110.9	93.2
		肉用牛	117,489	455	53,461,534	118,109	467	55,158,861	103.2	101.3
		一般馬	4	475	1,900	4	714	2,858	150.4	138.7
		種 豚	1,796	96	172,700	1,911	68	129,550	75.0	99.2
		肉 豚	15,894	10	164,912	13,718	10	142,667	86.5	85.2
		種雄牛	14	411	5,751	14	476	6,662	115.8	98.2
		計	156,368	371	58,031,738	153,338	392	60,126,176	103.6	100.6
	疾病 傷害 共済	乳用牛	14,405	17	247,850	14,178	17	234,865	94.8	90.2
		肉用牛	49,015	15	713,584	49,413	14	677,470	94.9	97.8
		一般馬	4	28	110	4	22	86	78.4	116.5
		種 豚	49	4	171	29	4	130	76.0	72.2
		種雄牛	14	35	486	14	29	402	82.7	92.2
		計	63,487	15	962,201	63,638	14	912,954	94.9	95.7
	計	219,855	268	58,993,939	216,976	281	61,039,129	103.5	100.5	
合 計			1,478,737,376			1,460,657,614	98.8	96.2		

項目 区分		被害又は事故					
		本年度		前年度		比較	
		被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金		
家畜	死亡 廃用 共済	頭	円	頭	円	%	
		乳用牛	1,370	215,400,942	1,504	248,175,739	86.8
		肉用牛	3,474	637,486,732	3,328	674,204,157	94.6
		一般馬	0	0	0	0	—
		種豚	0	0	3	90,400	0.0
		肉豚	11	57,657	13	91,137	63.3
		種雄牛	2	998,400	1	396,000	252.1
	計	4,857	853,943,731	4,849	922,957,433	92.5	
	疾病 傷害 共済	件			件		
		乳用牛	9,251	153,212,935	10,742	170,434,064	89.9
		肉用牛	34,266	427,235,993	34,217	429,868,659	99.4
		一般馬	0	0	0	0	—
		種豚	2	13,185	6	32,787	40.2
		種雄牛	7	112,972	4	64,453	175.3
計	43,526	580,575,085	44,969	600,399,963	96.7		
計		1,434,518,816		1,523,357,396	94.2		
合計		6,088,864,315		4,223,723,836	144.2		

(1) 農作物共済関係
(引受)

年産	共済目的		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額
令和4年産	水稲	半相殺	26,748人	3,923,689 ^a	160,663,492kg	29,325,188,496円
		全相殺	372	62,436	2,716,951	458,369,896
		地域インデックス	13	3,780	183,468	36,656,283
		計	27,133	3,989,905	163,563,911	29,820,214,675
令和5年産	麦	半相殺	0	0	0	0
		災害収入共済方式	99	130,485		285,511,281
		計	99	130,485	0	285,511,281
計		延実	27,232 24,746	4,120,389	163,563,911	30,105,725,956
令和3年産	水稲	計	28,928	4,749,296	169,635,085	31,041,108,910
令和4年産	麦	計	92	124,840		227,199,154

年産	共済目的		徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
令和4年産	水稲	半相殺			
		全相殺			
		地域インデックス			
		計	217,661,867	△ 127,252,676	90,409,191
令和5年産	麦	半相殺			
		災害収入共済方式			
		計	6,917,878	934,447	7,852,325
計			224,579,745	△ 126,318,229	98,261,516
令和3年産	水稲	計	195,439,076	△ 128,420,500	67,018,576
令和4年産	麦	計	5,534,119	732,371	6,266,490

水稲作付面積(子実用)は、前年産から3,800ha減少した。新型コロナウイルス感染症の影響による米の消費の減少などから主食用米から飼料用米はじめ他作物への転換の取り組みの推進により、引受面積は飼料用米は269ha増加したが、収入保険への移行もあり主食用米で7,837ha減、米粉用米で26ha減少し合計で前年度に対し7,594haの減少となった。統計作付面積に対する面積引受率は65.6%となった。令和5年産麦は4支所で引受を実施した。引受面積は、収入保険への移行もあったが作付面積が増えたことから前年度に対し56haの増加となった。令和4年産の統計作付面積に対する面積引受率は53.9%となった。

(被害)

共済目的		被害組合員数	共済金	共済金/ 共済金額	
水	令和3 年産	一筆	439	41,379,680	0.14
		半相殺	4	233,328	0.06
		全相殺	3	125,644	0.03
		地域インデックス	0	0	0.00
		計	446	41,738,652	0.13
稲	令和4 年産	半相殺	680	161,766,558	0.55
		全相殺	16	3,821,017	0.83
		地域インデックス	0	0	0.00
		計	696	165,587,575	0.56
麦	令和4 年産	半相殺	0	0	0.00
		災害収入共済方式	42	26,781,650	11.79
		計	42	26,781,650	11.79
計		延 1,184	234,107,877	0.38	

(水稻)

令和3年産水稻の被害は、山間部及び西部丘陵地帯を中心にイノシシによる獣害、8月の不順天候や収穫時期の降雨による倒伏等による被害により減収した。なお、全相殺方式の税の申告書類による引受を行った加入者から被害申告があり損害評価高の確定が令和4年4月となった。

令和4年産水稻は、田植え及び田植え後の初期生育は5月下旬から6月中旬にかけて低温、寡照となり生育はやや遅れた。出穂は7月上旬から中旬にかけて寡照で経過したことから出穂盛期は平年より1日遅い8月3日となった。刈取りは刈取盛期が10月1日と平年より1日遅くなったが概ね順調に刈取り作業は進行した。県内の作柄は、10a当たり予想収穫量は537kg(作況指数100)となった。

被害状況は、7月13日の大雨、7月15日～16日の豪雨により水害が発生し長期間冠水した圃場では株が枯死し大きな減収となった。また、出穂後の降雨による倒伏や山間部を中心にイノシシによる獣害が発生し減収した。

(麦)

令和4年産麦の生育概況は、10月上中旬降雨の影響で播種時期が遅れた圃場が一部で見られた。12月の気温が低温傾向で推移したため越冬前の生育量は平年より少なく、草丈、茎数は平年を下回った。2月中旬以降から越冬後にかけて気温が平年より高く経過したことから草丈、茎数は平年並みとなった。2月中旬、3月中旬にまとまった降雨があり一部圃場で土壌が湿潤状態となり生育が阻害された。また、5月上旬から7月にかけての大雨等の影響で、刈取りが遅れた圃場において品質の低下が見受けられた。

宮城県の作柄は、大麦10a当たり収量339kg(平均収量対比104%)、小麦10a当たり収量392kg(同97%)となった。

被害状況は、播種直後の降雨により一部圃場で発芽不良等が発生した。また、越冬後のまとまった降雨により土壌湿潤状態が続いたため生育が阻害され茎数が不足し穂数が減少した圃場も発生し、更に収穫期の降雨による刈取作業の遅れにより収量の減少及び品質低下が発生した。

(支払)

共済目的			支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金／共済金
					保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
水	令和3 年産	一筆	令和4年 4.15	41,379,680	/	/	/	/	/	/
		半相殺		233,328						
		全相殺		125,644						
		地域ンデックス		0						
		計		41,738,652						
	令和4 年産	半相殺	令和5年 1.25	161,766,558						
		全相殺		3,821,017						
		地域ンデックス		0						
		計		165,587,575						
	計			207,326,227						
麦	令和4 年産	半相殺	令和4年 12.26	0	/	/	/	/	/	/
		災害収入共済方式		26,781,650						
		計		26,781,650						
計			234,107,877	1,233,532	163,694,257	69,180,088	0	0	100	

(損害防止)

地域での一斉防除（種もみの温湯消毒、無人ヘリコプター等によるカメムシ防除等）の推進と農作物病虫害適期防除推進圃調査を実施し、防除協議会等関係機関と連携して病虫害防除の適期、適正防除を推進した。

(2) 家畜共済関係

(引受)

区分		項目	有資格 頭数	事業計画 頭数	引受 頭数	引受頭数/事 業計画頭数	共済金額
死亡 廃用 共済	乳用牛	搾乳牛	頭 16,079	頭 13,847	頭 13,108	% 94.7	円 3,269,004,200
		育成乳牛 (子牛等)	8,548	(676)	(612)	88.4 90.5	1,416,573,026 (57,929,410)
		計	24,627	21,171	19,582	92.5	4,685,577,226
		繁殖用雌牛	27,096	24,142	24,295	100.6	9,378,375,548
	肉用牛	育成・肥育牛 (子牛等)	101,060	93,347 (9,288)	93,814 (9,464)	100.5 101.9	45,780,485,602 (1,213,355,910)
		計	128,156	117,489	118,109	100.5	55,158,861,150
		繁殖用雌馬	10	3	3	100.0	1,386,400
	一般馬	育成・肥育馬	1	1	1	100.0	1,471,200
		計	11	4	4	100.0	2,857,600
	種豚	16,400	1,796	1,911	106.4	129,550,400	
	肉豚	139,167	15,894	13,718	86.3	142,667,200	
	種雄牛	17	14	14	100.0	6,661,950	
	種雄馬	0	0	0	0.0	0	
	計	308,378	156,368	153,338	98.1	60,126,175,526	
	疾病 傷害 共済	乳用牛	頭 17,861	頭 14,405	頭 14,178	% 98.4	円 234,865,413
肉用牛		59,682	49,015	49,413	100.8	677,469,900	
一般馬		11	4	4	100.0	86,220	
種豚		14,653	49	29	59.2	130,000	
種雄牛		17	14	14	100.0	401,987	
種雄馬		0	0	0	0.0	0	
計		92,224	63,487	63,638	100.2	912,953,520	

区分	項目	徴収共済掛金 (円)	交付金又は 納入保険料 (円)	手持共済掛金 (円)
死亡廃用共済		394,712,734	394,382,054	789,094,788
疾病傷害共済		219,793,024	220,095,174	439,888,198
過年度 (期末調整) 含み		12,631,521	1,258,431	13,889,952
合計 (死廃・疾傷)		627,137,279	615,735,659	1,242,872,938

※引受頭数及び共済金額は、期首引受（一般と短期の合計）と期中変更分です。

引受戸数が廃業等の飼養戸数減少が影響し8,229戸（前年比94.3%）となり、引受頭数では216,976頭（前年比97.6%）となった。

共済金額では、共済価額の減少に伴う補償金額の減少もあったが、新規加入者の引受等により61,039,129千円（前年比100.4%）の前年度より増加となる。

(事故)

項目 区分		死亡廃用共済				疾病傷害共済	
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金	件数	支払共済金
		頭	頭	頭	円	件	円
乳用牛	搾乳牛	953	188	1,141	202,351,071	9,251	153,212,935
	育成乳牛 (子牛等)	225 (169)	4 (0)	229 (169)	13,049,871 (5,089,222)		
	計	1,178	192	1,370	215,400,942		
肉用牛	繁殖用雌牛	430	138	568	165,451,171	34,266	427,235,993
	育成・肥育牛 (子牛等)	2,715 (2,171)	191 (3)	2,906 (2,174)	472,035,561 (215,823,769)		
	計	3,145	329	3,474	637,486,732		
一般馬	繁殖用雌馬	0	0	0	0	0	0
	育成・肥育馬	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0		
種豚		0	0	0	0	2	13,185
肉豚		11	0	11	57,657		
種雄牛		1	1	2	998,400	7	112,972
種雄馬		0	0	0	0	0	0
計		4,335	522	4,857	853,943,731	43,526	580,575,085

死廃事故頭数は前年度と比較し、乳用牛で134頭減少したが肉用牛では成牛及び子牛・胎児で146頭増加し全体で8頭の増加（前年比100.1%）となった。胎児の過大による事故が増加しているほか、子牛の循環器病・消化器病の事故が増加した。

病傷事故件数は前年度と比較し、乳用牛が1,491件減少、肉用牛では49件増加し、全体としては1,443件減少（前年比96.7%）となった。病類別では、特に乳用成牛の生殖器病が734件減少しているが、肉用成牛に係る呼吸器病が542件増、肉用子牛の消化器病が103件増加している。

支払共済金は、死廃事故で853,943千円となり前年度よりも69,013千円減少（前年比92.5%）となった。これは、事故頭数は増加しているものの1頭当たりの事故家畜の評価額が前年度より減少したことによる。また、牛伝染性リンパ腫による事故が、前年度より4頭増加の145頭で支払共済金56,420千円（全体の6.6%）となっている。

病傷事故は、580,575千円となり前年度よりも19,824千円減少（前年比96.6%）した。これは、乳用牛の支払共済金17,221千円減少が要因ではあるが、肉用子牛は3,968千円増加しており子牛に係る事故が多発している。

(損害防止)

実施種目	対象頭数又は回数	経費概算 (円)	摘 要	
特定損害防止	2,908 頭	17,753,670		
一般損害防止	健康検査	741 頭	0	
	予防衛生措置	8,850 頭	9,557,419	予防注射等
	飼養管理指導	187 頭	0	
	事故防止講話会	10 回	0	
	代謝プロファイルテスト	549 頭	933,300	
	搾乳立会	0 回	0	
	超音波繁殖検診	15,957 頭	11,169,900	
計	29,192 頭 10 回	39,414,289		

(家畜診療センター等)

家畜診療センター等名	職員数	管内頭数			診療件数	
		有資格頭数	死亡廃用 共済引受	疾病傷害 共済引受	共済事故	事故外
	人	頭	頭	頭	件	件
県 南	12	72,460	35,105	9,548	3,175	88
中 央	12	69,438	39,077	20,687	7,200	80
県 北	13	154,408	67,570	26,651	7,711	215
家畜診療 研修所	4	12,072	11,586	6,752	2,563	67
計	41	308,378	153,338	63,638	20,649	450

家畜診療センター等名	損害防止事業		
	一般	特損	経費概算
	頭	頭	円
県 南	8,716	830	11,909,032
中 央	5,893	780	10,197,615
県 北	8,642	931	12,282,551
家畜診療 研修所	3,033	367	5,025,091
計	26,284	2,908	39,414,289

特定損害防止事業では、乳用牛の乳房炎疾患の事故低減が認められ、一定の効果が認められた。

一般損害防止事業では、各種ワクチン接種による個体予防衛生措置や超音波画像診断装置を用いた牛群を対象とした飼養管理指導を実施し、さらに、令和4年度家畜共済事故対策協議会では、牛伝染性リンパ腫に対する衛生管理指導を行った。

獣医師の診療技術関係では、各種研修会へ積極的に参加し診療技術向上を図り、疾病予防関連では、子牛呼吸器病及び消化器病の事故低減を目的とした臨床試験研究を行った。

(3) 果樹共済関係

(引受)

年度	果樹区分					組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入保険料	手持共済掛金
						人	a	円	円	円	円
令和4年度(令和5年産)	りんご	半総	相合	殺一	減収	0	0	0	0	/	/
		半総	相合	殺短	減縮	40	1,565	47,189,000	753,437		
		小計		40	1,565	47,189,000	753,437				
	なし	半総	相合	殺一	減収	0	0	0	0		
		半総	相合	殺短	減縮	47	2,474	107,490,000	2,598,716		
		小計		47	2,474	107,490,000	2,598,716				
合計		87	4,039	154,679,000	3,352,153	913,329	4,265,482				
令和3年度(令和4年産)	りんご	半総	相合	殺一	減収	0	0	0	0	/	/
		半総	相合	殺短	減縮	41	1,614	48,898,000	527,428		
		小計		41	1,614	48,898,000	527,428				
	なし	半総	相合	殺一	減収	0	0	0	0		
		半総	相合	殺短	減縮	49	2,632	104,506,000	1,203,108		
		小計		49	2,632	104,506,000	1,203,108				
合計		90	4,246	153,404,000	1,730,536	609,815	2,340,351				

果樹栽培農家の高齢化、後継者不足等から廃園、規模縮小や収入保険への移行により戸数及び引受面積は減少した。

りんごは、前年産に対し引受面積で49a減少、共済金額で1,709千円減少した。

なしは、引受面積で158a減少したが、単位当たり価額が上昇したことにより共済金額は2,984千円増加した。

有資格面積に対する引受率は、りんごで15.0%、なしで23.1%となった。

参考 農林総計結果樹面積に対する引受率 りんご9.4%(令和3年産りんご167ha) なし18.6%(令和4年産なし133ha)

(被害)

果樹区分		被害組合員数	共済金	共済金／ 共済金額
		人	円	%
りんご	半総相殺減収 総合一一般	0	0	0.00
	半総相殺減収 総合短縮	3	231,930	0.47
	小計	3	231,930	0.47
なし	半総相殺減収 総合一一般	0	0	0.00
	半総相殺減収 総合短縮	3	1,026,920	0.98
	小計	3	1,026,920	0.98
合計		6	1,258,850	0.82

気象経過については、3月の平均気温は高く、降水量は平年並み、日照時間については概ね平年並みから多かった。4月は月の終わりに大雨となる所があり、雪の降る所もあった。4月の平均気温は高く、降水量は平年並み、日照時間は多かった。5月の平均気温は平年並みから高く、降水量は少ないから平年並み、日照時間は多かった。6月の前半は気温がかなり低く、後半は高く推移した。また、東北南部は6月15日ごろ梅雨入りし、6月29日ごろ梅雨明けしたとみられ、観測史上最も早い梅雨明けとなった。7月は上旬から中旬にかけ曇りや雨の日が多かった。特に7月15日から16日は県内の10か所で7月の日降水量の極値を更新するなど記録的な大雨となった。7月の平均気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並み。

令和4年産りんごの発芽期から開花期の生育状況は、平年と比較し、ふじの発芽は概ね平年並み、開花は2日から12日早かった。(県農業・園芸総合研究所)。被害状況については、6月2日に県内各地で降ひょうにより、果実に傷果やへこみが発生した。また、7月の長雨により病害が発生し、果実に病斑及び腐敗、玉伸び不良等による被害が発生した。

令和4年産なしの発芽期から開花期の生育状況は、平年と比較し幸水の開花は3日程度早く、発芽から落花期までの春先全体の生育は平年と比べて3日早まった(県農業・園芸総合研究所)。被害状況については、県内全域において4月2日から9日、17日から20日の降霜により、花蕾露出期から開花期の雌しべや子房が枯死した花そうが多く、結実不良となり着果数が減少した。また、果実の変形果、果実表面のコルク化が発生し収量が減少した。

(支払)

果樹区分		支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 ／共済 金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
			円	円	円	円	円	%	
りんご	半総相殺減収 総合一一般		0						
	半総相殺減収 総合短縮	2月1日	231,930						
	小計		231,930						
なし	半総相殺減収 総合一一般		0						
	半総相殺減収 総合短縮	12月6日	1,026,920						
	小計		1,026,920						
合計			1,258,850	0	1,258,850	0	0	0	100

(4) 畑作物共済関係

(引受) 令和4年産

区分		項目	組合員数	引受面積等	共済金額
ばれいしよ	全相殺		人 4	a 1,626	円 15,318,062
	計		4	1,626	15,318,062
大豆	半相殺		25	11,961	22,040,357
	全相殺		287	523,990	1,753,651,307
	計		312	535,951	1,775,691,664
そば	全相殺		3	1,848	733,594
	インデックス		5	1,583	513,816
	計		8	3,431	1,247,410
蚕繭	春蚕繭		人 3	箱 7.44	円 605,070
	初秋蚕繭		1	1.69	122,010
	晩秋蚕繭		4	8.94	557,760
	計	延 実	8 3	18.07	1,284,840
計		延 実	332 318		1,793,541,976

区分		項目	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
ばれいしよ	全相殺		円 396,233	円	円
	計		396,233		
小計			396,233	292,344	688,577
大豆	半相殺		649,248		
	全相殺		51,663,308		
	計		52,312,556		
そば	全相殺		22,078		
	インデックス		19,650		
	計		41,728		
蚕繭	春蚕繭		3,919		
	初秋蚕繭		687		
	晩秋蚕繭		10,139		
	計		14,745		
小計			52,369,029	53,426,204	105,795,233
計			52,765,262	53,718,548	106,483,810

大豆は5支所全てで実施し、引受面積は収入保険への移行もあり前年産に比べ259ha減少し、5,360ha（前年度対比95.4%）となった。統計作付面積11,900haに対する引受率は45.0%（前年産51.1%）となった。また、共済金額は1,775,692千円となり単位当たり共済金額が前年産より高くなったこと等により、昨年産の1,659,018千円から116,674千円（前年産対比107.0%）増加した。

蚕繭は2支所で実施し、引受実戸数は3戸で前年と比べ1戸減少となった。共済箱数は18.07箱と前年産より26.39箱減少した。

(被害) 令和3年産

区分	項目	被害 組合員数	共済減収量	共済金	共済金/ 共済金額
ばれいしょ	全相殺	4	59,886	2,515,212	15.30
	計	4	59,886	2,515,212	15.30
大豆	半相殺	2	296	37,296	2.22
	一筆	12	7,737	1,117,146	0.86
	全相殺	31	49,124	9,470,808	0.62
	計	45	57,157	10,625,250	0.64
そば	全相殺	0	0	0	0.00
	インデックス	5	1,955	344,080	39.19
	計	5	1,955	344,080	24.74
蚕繭	春蚕繭	1	42	102,900	10.91
	初秋蚕繭	0	0	0	0.00
	晩秋蚕繭	0	0	0	0.00
	計	1	42	102,900	3.55
計		55	119,040	13,587,442	-

(支払) 令和3年産

区分	項目	支払 月日 (確定日)	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 /共済金	
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他		
ばれいしょ	全相殺	令和4年 5月9日	2,515,212	円	円	円	円	円	%	
大豆	半相殺		37,296	円	円	円	円	円		
	一筆		1,117,146	円	円	円	円	円		
	全相殺		9,470,808	円	円	円	円	円		
そば	全相殺		0	円	円	円	円	円		
	インデックス		344,080	円	円	円	円	円		
蚕繭	春蚕繭		102,900	円	円	円	円	円		
	初秋蚕繭		0	円	円	円	円	円		
	晩秋蚕繭		0	円	円	円	円	円		
計			13,587,442	0	13,587,442	0	0	0	100	

ばれいしょは、5月上旬から6月中旬にかけて高温傾向で経過したが、7月上旬に著しい寡照となったものの、7月中旬以降下旬まで少雨、高温、多照傾向で経過したことから茎長の伸び、茎葉の展開も良好だった。

しかしながら、その後8月中旬の大雨や8月が多雨、寡照傾向で経過したことにより、圃場の湿潤状態が続き、病害の発生が見られた。

大豆の生育状況は、播種は概ね適期に行われ、播種前後の5月から6月中旬まで概ね高温で経過した。7月上旬は気温は平年並みだったが降水量が平年を大きく上回り、著しい寡照となった。7月中旬以降下旬まで高温、多照、少雨で経過した。8月中旬以降は低温、多雨、寡照となった。収穫作業は収穫時期が少雨、多照傾向で経過したため概ね順調に行われた。農林統計による宮城県の作柄は、令和4年4月8日公表の数値で10a当たり収量202kg、平年比130%となった。

被害状況は、6月下旬から7月中旬、8月上旬8月中旬にかけて多雨、寡照傾向で経過したことにより、圃場の湿潤状態が続いたため、播種遅れや初期生育の不良が発生した。また、山間地域の圃場において、収穫期にイノシシによる食害や圃場内の踏み荒らしによる茎の折損等の被害が発生した。

そばについては、播種時期である8月の多雨、寡照傾向で経過したことから播種が遅れた圃場が見受けられた。開花期である9月上旬から9月下旬にかけて断続的な降雨があったものの適切な排水対策により大幅な生育の低下は見られなかった。被害状況は8月上旬から中旬にかけて多雨、寡照傾向で経過したこと及び9月上旬、10月上旬・中旬の断続的な降雨により一部の圃場で湿潤状態が続き、株の枯死が発生した。

蚕繭は、4月に丸森町の桑園に降霜があり春蚕繭に使用する予定の桑園が収桑できなくなり掃き立て不能となる被害となった。初秋蚕繭、晩秋蚕繭について被害はなかった。

(参考：令和4年産 畑作物共済被害概況)

令和元年産から畑作物共済については、全ての畑作物の損害が確定した後に保険金の支払となることから、令和4年産の損害については、年度内に支払財源の確定に至らず、仮渡として下記のとおり共済金を支払いしております。

なお、仮渡としておりますが、支払金額に変更はありません。

区分		項目	支払月日 (仮渡月日)	被害組合員数	共済減収量	仮渡共済金
				人	kg	円
ばれいしょ	全相殺		令和4年11月21日	4	247,736	10,652,648
大豆	半相殺		令和5年2月15日	9	48,206	6,483,431
	全相殺		令和5年3月15日 令和5年3月27日 令和5年3月29日 令和5年4月5日	154	1,125,309	266,787,448
	計			163	1,173,515	273,270,879
そば	全相殺			0	0	0
	インデックス		令和5年5月12日	3	403	63,674
	計			3	403	63,674
蚕繭	春蚕繭			0	0	0
	初秋蚕繭			0	0	0
	晩秋蚕繭			0	0	0
	計			0	0	0

ばれいしょについては、7月13日の大雨、7月15日から16日の豪雨により作付け圃場が冠水し腐敗イモ等が発生したため大きな被害となった。

大豆の生育状況は、播種は概ね適期に行われ、播種後の生育もおおむね順調に経過したが、7月13日の大雨、7月15日から16日の豪雨がその後の生育に大きな影響を及ぼし被害程度が大きい圃場では株の枯死、被害程度が軽い圃場でも生育の遅れにより総節数が減少した。また一部品種ではやや蔓化傾向となり倒伏する圃場も発生した。収穫作業は概ね順調に行われた。

被害状況は、7月13日の大雨、7月15日から16日の豪雨により、圃場が浸冠水する被害となり、株の枯死や初期生育の不良等により大きな減収となった。また、山間地域の圃場において、収穫期にイノシシによる食害や圃場内の踏み荒らしによる茎の折損等の被害が発生した。

そばは播種時期である8月上旬は寡照傾向で推移したがその後好天に恵まれ播種作業は順調に行われた。

9月上旬の開花期は寡照であったことから一部地域で結実数の不足が発生した。

被害状況は、播種時期以降の断続的な降雨による土壌湿潤害や開花期の寡照により減収する地域もあった。

(5) 園芸施設共済関係

(引受)

区分 \ 項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額
	人	棟	㎡	円	円
ガラスⅡ類	22	35	56,897	747,574,679	598,059,738
プラスチックⅠ類	1	2	132	741,480	741,480
プラスチックⅡ類	8,758	18,776	2,655,942	8,057,540,642	6,396,611,726
プラスチックⅢ類	29	40	77,574	532,036,822	307,636,863
プラスチックⅣ類(甲)	151	195	154,935	1,650,582,485	1,283,934,094
プラスチックⅣ類(乙)	165	255	323,799	3,625,000,092	2,855,081,372
プラスチックⅤ類	21	25	13,958	184,973,945	144,867,466
プラスチックⅥ類	8	10	2,849	7,731,186	6,184,946
計	9,155	19,338	3,286,086	14,806,181,331	11,593,117,685

区分 \ 項目	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
	円	円	円
ガラスⅡ類	2,210,923	△ 88,643	2,122,280
プラスチックⅠ類	73	22	95
プラスチックⅡ類	96,708,129	35,827,358	132,535,487
プラスチックⅢ類	4,766,534	205,433	4,971,967
プラスチックⅣ類(甲)	8,419,060	1,579,915	9,998,975
プラスチックⅣ類(乙)	9,803,379	5,487,939	15,291,318
プラスチックⅤ類	603,040	489,235	1,092,275
プラスチックⅥ類	152,865	115,374	268,239
計	122,664,003	43,616,633	166,280,636

園芸施設共済の制度改正内容を組合員に周知し、加入推進に努めるとともに台風19号や令和3年及び令和4年の地震等の被害から復旧した施設や国の補助事業等で導入された大型施設等に対し制度内容を説明するなど加入推進を積極的に実施したが、水稻作付けの委託等による育苗ハウス等有資格棟数の減少、過去の災害による危険段階区分の上昇による掛金負担の増加のため継続加入農家が減少し、前年度引受実績に対し棟数で1,252棟減少した。また、共済金額は773,624千円減少した。

(被害)

項目 区分	被害 組合 員数	被害 棟数	損害の額	共済金							共済金 ／ 共済金 額
				特定 園芸施設	附帯施設	施設内 農作物	撤去費用	復旧費用	付保割合 追加特約	合計	
	人	棟	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラスⅡ類	4	6	1,591,387	892,889	152,838	227,380	0	0	0	1,273,107	0.21
プラスチックⅠ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
プラスチックⅡ類	491	624	35,691,149	27,576,095	520,000	0	0	0	24,051	28,120,146	0.44
プラスチックⅢ類	3	3	797,260	637,807	0	0	0	0	7,283	645,090	0.21
プラスチックⅣ類(甲)	11	11	2,043,038	571,229	745,952	301,035	0	0	0	1,618,216	0.13
プラスチックⅣ類(乙)	9	12	41,759,133	3,049,669	18,944,136	0	55,765	0	0	22,049,570	0.77
プラスチックⅤ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
プラスチックⅥ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
過年度分	4	5	1,507,850	0	0	0	0	1,184,680	0	1,184,680	
計	522	661	83,389,817	32,727,689	20,362,926	528,415	55,765	1,184,680	31,334	54,890,809	0.47

共済事故の主なものとしては、7月15日から16日の豪雨による本体及び被覆物の被害、2月の降雪による被害の他、強風による本体及び被覆物の被害等が発生し共済金を支払いした。

(支払)

実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 ／ 共済金
	保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
円	円	円	円	円	円	%
54,890,809	2,514,516	52,376,293	0	0	0	100

(6) 任意共済関係

1 建物共済関係

(引受)

項目 区分	加入棟数	共済金額	共済掛金	
			純共済掛金	賦課金
	棟	円	円	円
火災共済	87,942	1,076,047,250,000	580,477,839	473,858,252
総合共済	18,503	181,781,390,000	396,033,340	110,957,060
計	106,445	1,257,828,640,000	976,511,179	584,815,312

項目 区分	1棟当たり 平均共済金額	任意保険料	保険手数料
	円	円	円
火災共済	12,235,874	315,443,046	127,539,491
総合共済	9,824,428	215,623,091	33,349,810
計又は平均	11,816,700	531,066,137	160,889,301

(注) 総共済掛金額1,561,326,491円、任意保険料割合 地震等50%・地震等以外30%、保険料手数料割合 火災共済40.45%・総合共済16.90%

共済資源の減少や他保険への移行が影響し、引受棟数106,445棟、共済金額 1兆2,578億2,864万円となり、前年度に対して棟数で4,025棟、共済金額で566億1,729万円減少し、前年対比95.7%となった。

内訳は、火災共済で574億7,422万円減（前年対比94.9%）、総合共済で8億5,693万円増（前年対比100.5%）であった。

(事故)

事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)
		火災	風水害等		
棟	円	円	円	円	%
6,469	70,066,260,000	420,136,057	3,843,358,338	2,012,535,188	6.08

令和4年度の事故は、棟数6,469棟、支払共済金42億6,349万円で、前年度に対して棟数で2,369棟増加、支払共済金で19億3,449万円増加した。

内訳は、火災事故等で支払共済金が7,709万円減少し、風水害等では20億1,158万円増加した。

(建物共済原因別事故発生状況)

事故の原因別	事故棟数		加入総 共済金額 (イ) 円	支払共済金 (ロ) 円	任意保険金 円	被害率 (ロ) / (イ) %
	棟	内家具 類等 棟				
地震等	5,735	2	61,499,250,000	3,667,436,278	1,833,718,043	5.96
雪害等	310		3,311,860,000	87,355,432	26,206,498	2.64
風水害等	87	2	826,100,000	51,131,242	15,339,334	6.19
外部からの落下等	86	1	1,027,000,000	15,546,840	4,664,023	1.51
落雷	84	37	1,219,550,000	9,640,693	2,892,166	0.79
水道管凍結	75		945,100,000	3,340,565	1,002,155	0.35
火災等	40	13	511,200,000	348,197,242	104,459,161	68.11
給排水設備	21	2	287,700,000	7,674,153	2,302,236	2.67
盗難による汚毀損	15		279,400,000	305,948	91,778	0.11
類焼	13	6	129,100,000	71,938,815	21,581,639	55.72
その他の自然災害	3		30,000,000	927,187	278,155	3.09
計	6,469	63	70,066,260,000	4,263,494,395	2,012,535,188	6.08

令和4年度の事故は、棟数6,469棟、支払共済金42億6,349万円で、前年度に対して、2,369棟、支払共済金は19億3,449万円増加した。

2 農機具共済関係

(引受)

区分 \ 項目	加入台数	共済金額	共済掛金		1台当たり 平均共済金額
			純共済掛金	賦課金	
	台	円	円	円	円
火災共済	19,603	41,850,840,000	25,189,354	18,809,933	2,134,920
総合共済	16,280	56,045,580,000	181,158,688	129,100,787	3,442,603
計又は平均	35,883	97,896,420,000	206,348,042	147,910,720	2,728,212

新規導入農機具や未加入農機具の加入推進を行い新規引受があったものの、組合員の減少や作業委託の増加等により、引受台数で35,883台、共済金額は978億9,642万円となった。前年度に対して台数で515台減少したが、共済金額は1億3,619万円増加した。

(事故)

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ) / (イ)
	台	円	円	%
接触	314	1,509,500,000	43,638,307	2.89
作業機との接触・衝突による事故	38	176,330,000	2,638,474	1.50
異物の巻き込み	20	75,510,000	4,331,514	5.74
収穫物等の詰まりによる事故	17	176,380,000	3,200,244	1.81
自機または接続した作業機からの物体の落下・飛来	14	84,100,000	901,150	1.07
転覆	13	49,190,000	11,703,704	23.79
自然災害・洪水	12	16,440,000	1,643,015	9.99
道路の段差を乗り越えるとき等の衝撃による事故	11	58,100,000	2,214,592	3.81
自然災害・雪崩等の雪害	10	72,150,000	1,491,702	2.07
墜落	8	38,690,000	4,318,132	11.16
火災	7	17,950,000	7,668,729	42.72
自然災害・突風	6	38,220,000	813,436	2.13
ほ場等から引き揚げられる時のけん引による事故	5	18,810,000	320,912	1.71
地震	2	4,000,000	1,066,459	26.66
これらに類する稼働中の事故	2	23,810,000	115,756	0.49
物体の落下及び飛来	2	11,530,000	78,185	0.68
盗難による盗取又はき損	1	7,310,000	352,106	4.82
衝突	1	4,200,000	302,506	7.20
自然災害・暴風雨	1	2,130,000	110,571	5.19
物体の落下及び飛来(格納中)	1	4,960,000	83,121	1.68
鳥獣害	1	2,100,000	13,511	0.64
計	486	2,391,410,000	87,006,126	3.64

令和4年度の事故は、台数486台、支払共済金8,701万円で、前年度に対して、112台減少、支払共済金は3,999万円減少した。

(7) 農機具更新共済関係

(引受)

加入台数	共済金額	減価共済金額	共済掛金		
			純共済掛金		賦課金
			災害部分	減価部分	
台 20	円 120,360,000	円 73,800,000	円 521,268	円 10,633,080	円 362,620

引受台数は20台、共済金額は1億2,036万円で、前年度に対して3台、共済金額で1,796万円減少した。

(事故)

事故台数	期間満了 台数	加入総共済金額	支払共済金			被害率 (ロ) / (イ)
			内事故部分 (イ)	接触・異物の巻込 (ロ)	期間満了 によるもの	
台 0	台 3	円 17,960,000	円 0	円 0	円 7,500,000	% 0.00

令和4年度に期間満了となった3台に、満期共済金として750万円を支払った。

(8) 保管中農産物補償共済関係

(引受)

内訳	加入口数	共済金額	共済掛金等		保険料等
			純共済掛金	賦課金	
Aタイプ	口 110	円 110,000,000	円 192,500	円 82,500	円 204,820
Bタイプ	16	16,000,000	72,800	31,200	77,472
計	126	126,000,000	265,300	113,700	282,292

(事故)

事故件数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)
件 0	円 0	円 0	円 0	% -

(9) 農業経営収入保険関係

(引受)

加入経営体数			基準収入金額
個人	法人	計	
人	人	人	円
2,956	316	3,272	35,328,139,011

※基準収入金額は令和5年3月末時点の金額。

(事故)

内訳	支払件数	支払保険金等
	人	円
個人	1,384	1,683,385,897
法人	145	788,165,451
計	1,529	2,471,551,348

※令和4年4月1日から令和5年3月31日にNOSAI全国連から加入者に支払われた分。

7月13日の大雨及び7月15日から16日にかけての豪雨による冠水・浸水被害での品質低下及び収穫量の減少、令和3年産の米価の低下により収入が減少した。

(つなぎ融資)

内訳	貸付件数	貸付金額
	人	円
個人	20	35,280,000
法人	10	54,320,000
計	30	89,600,000

※令和4年4月1日から令和5年3月31日にN O S A I 全国連から加入者に融資された分。

支 所 別 明 細

(10) 支所別明細

項目 区分	支所名	引受 (加入)										
		計画		実績		前年度実績		達成率		前年度対比		
		引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	
農作物	水稲	ha	千円	ha	千円	ha	千円	%	%	%	%	
		県南	6,503	4,762,490	6,336	4,636,627	7,539	4,782,926	97.4	97.4	84.0	96.9
		宮城中央	4,420	3,239,391	4,278	3,098,461	5,198	3,343,743	96.8	95.6	82.3	92.7
		六の国	3,919	2,651,800	3,539	2,424,306	4,756	2,882,535	90.3	91.4	74.4	84.1
		大崎	7,815	5,698,519	8,727	6,262,520	9,680	6,117,263	111.7	109.9	90.2	102.4
		県北	16,730	13,350,334	17,018	13,398,300	20,320	13,914,642	101.7	100.4	83.8	96.3
	小計	39,387	29,702,534	39,899	29,820,215	47,493	31,041,109	101.3	100.4	84.0	96.1	
	麦	県南	79	4,948	40	3,177	84	5,762	50.6	64.2	47.6	55.1
		宮城中央	105	4,433	87	3,734	109	4,603	82.9	84.2	79.8	81.1
		六の国	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
		大崎	470	178,116	547	220,624	437	166,133	116.4	123.9	125.2	132.8
		県北	640	52,223	631	57,977	618	50,700	98.6	111.0	102.1	114.4
小計		1,294	239,720	1,305	285,511	1,248	227,199	100.9	119.1	104.6	125.7	
果樹	りんご	a	千円	a	千円	a	千円	%	%	%	%	
		県南	1,034	30,392	1,012	29,723	1,061	31,249	97.9	97.8	95.4	95.1
		宮城中央	160	4,160	168	4,641	160	4,103	105.0	111.6	105.0	113.1
		六の国	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
		大崎	70	2,310	87	2,996	89	2,923	124.3	129.7	97.8	102.5
		県北	302	10,591	297	9,829	304	10,623	98.3	92.8	97.7	92.5
	小計	1,566	47,453	1,565	47,189	1,614	48,898	99.9	99.4	97.0	96.5	
	なし	県南	2,094	79,572	2,013	83,452	2,100	79,762	96.1	104.9	95.9	104.6
		宮城中央	186	9,672	202	11,768	197	10,261	108.6	121.7	102.5	114.7
		六の国	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
		大崎	331	14,216	259	12,270	335	14,483	78.2	86.3	77.3	84.7
		県北	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
小計		2,611	103,460	2,474	107,490	2,632	104,506	94.8	103.9	94.0	102.9	

区分	項目	支所名	被害又は事故				比較
			本年度		前年度		
			被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金	
農作物	水稲	県南	kg 100,422	円 19,380,519	kg 0	円 0	% -
		宮城中央	257,253	44,723,567	0	0	-
		六の国	52,590	8,333,308	0	0	-
		大崎	426,959	65,385,152	0	0	-
		県北	348,683	69,503,681	0	0	-
		小計	1,185,907	207,326,227	0	0	-
	麦	県南		302,270		60,502	499.6
		宮城中央		874,550		0	-
		六の国		0		0	-
		大崎		20,512,450		3,133,633	654.6
		県北		5,092,380		4,084,991	124.7
		小計		26,781,650		7,279,126	367.9
果樹	りんご	県南	kg 1,369	円 78,960	kg 61,591	円 7,186,680	% 1.1
		宮城中央	1,470	54,040	7,193	856,850	6.3
		六の国	0	0	0	0	-
		大崎	0	0	4,880	721,980	-
		県北	1,638	98,930	51,519	4,598,080	2.2
		小計	4,477	231,930	125,183	13,363,590	1.7
	なし	県南	12,270	1,026,920	529,058	69,711,490	1.5
		宮城中央	0	0	0	0	-
		六の国	0	0	0	0	-
		大崎	0	0	34,847	4,144,930	-
		県北	0	0	0	0	-
		小計	12,270	1,026,920	563,905	73,856,420	1.4

区分	項目	支所名	引受 (加入)									
			計画		実績		前年度実績		達成率		前年度対比	
			引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額
畑作物	大豆	県南	ha 457	千円 74,144	ha 437	千円 76,496	ha 465	千円 76,061	% 95.6	% 103.2	% 94.0	% 100.6
		宮城中央	1,220	164,430	817	124,733	1,093	146,673	67.0	75.9	74.7	85.0
		六の国	333	88,981	268	73,332	372	94,516	80.5	82.4	72.0	77.6
		大崎	1,960	792,000	1,878	833,962	1,825	741,758	95.8	105.3	102.9	112.4
		県北	1,768	603,641	1,959	667,169	1,865	600,011	110.8	110.5	105.0	111.2
		小計	5,738	1,723,196	5,360	1,775,692	5,619	1,659,018	93.4	103.0	95.4	107.0
	ばれいしょ	県南	ha 3	千円 2,772	ha 3	千円 2,858	ha 3	千円 1,808	% 100.0	% 103.1	% 100.0	% 158.1
		宮城中央	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
		六の国	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
		大崎	14	13,860	13	12,460	13	13,115	92.9	89.9	96.9	95.0
		県北	0	0	0	0	2	1,514	—	—	—	—
		小計	17	16,632	16	15,318	18	16,437	94.1	92.1	90.4	93.2
	そば	県南	ha 0.5	千円 12	ha 6	千円 209	ha 7	千円 157	% 1,110.2	% 1,740.6	% 80.9	% 133.2
		宮城中央	18	563	18	725	16	506	100.6	128.7	112.1	143.1
		六の国	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
		大崎	0.4	10	0.4	9	0.4	7	100.0	91.4	100.0	134.5
		県北	20	554	10	305	25	721	52.0	55.0	40.4	42.3
		小計	39	1,139	34	1,247	49	1,391	88.8	109.5	70.3	89.7
	繭	県南	箱 10.50	千円 672	箱 6.82	千円 488	箱 32.94	千円 2,080	% 65.0	% 72.6	% 20.7	% 23.5
		宮城中央	0.00	0	0.00	0	0.00	0	—	—	—	—
		六の国	0.00	0	0.00	0	0.00	0	—	—	—	—
大崎		0.00	0	0.00	0	0.00	0	—	—	—	—	
県北		12.00	896	11.25	797	11.52	818	93.8	89.0	97.7	97.4	
小計		22.50	1,569	18.07	1,285	44.46	2,898	80.3	81.9	40.6	44.3	

区分	項目	支所名	被害又は事故				比較
			本年度		前年度		
			被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金	
畑 作 物	大 豆	県 南	kg 9,167	円 1,421,319	kg 11,437	円 1,813,357	% 78.4
		宮城中央	4,356	548,856	90,528	12,583,392	4.4
		六の国	15,243	2,184,979	84,352	19,995,631	10.9
		大 崎	21,648	5,479,414	120,937	29,023,672	18.9
		県 北	6,743	990,682	47,320	11,779,779	8.4
		小 計	57,157	10,625,250	354,574	75,195,831	14.1
	ば れ い し よ	県 南	kg 13,597	円 571,074	kg 0	円 0	% -
		宮城中央	0	0	0	0	-
		六の国	0	0	0	0	-
		大 崎	46,289	1,944,138	73,906	3,067,098	63.4
		県 北	0	0	0	0	-
		小 計	59,886	2,515,212	73,906	3,067,098	82.0
	そ ば	県 南	kg 0	円 0	kg 0	円 0	% -
		宮城中央	0	0	0	0	-
		六の国	0	0	0	0	-
		大 崎	0	0	0	0	-
		県 北	1,955	344,080	0	0	-
		小 計	1,955	344,080	0	0	-
	蚕 繭	県 南	kg 42	円 102,900	kg 0	円 0	% -
		宮城中央	0	0	0	0	-
		六の国	0	0	0	0	-
大 崎		0	0	0	0	-	
県 北		0	0	51	123,930	-	
小 計		42	102,900	51	123,930	83.0	

項目 区分	支所名	引受（加入）										
		計画		実績		前年度実績		達成率		前年度対比		
		引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	
園 芸 施 設	県 南	棟 6,167	千円 4,291,922	棟 5,781	千円 4,268,714	棟 6,290	千円 4,620,218	% 93.7	% 99.5	% 91.9	% 92.4	
	宮城中央	1,843	1,013,269	1,803	914,324	1,885	1,079,690	97.8	90.2	95.6	84.7	
	六の国	2,328	1,046,757	2,350	1,056,078	2,412	1,080,434	100.9	100.9	97.4	97.7	
	大 崎	2,860	1,430,000	2,971	1,546,780	3,086	1,576,357	103.9	108.2	96.3	98.1	
	県 北	6,952	3,750,196	6,433	3,807,222	6,917	4,010,043	92.5	101.5	93.0	94.9	
	小 計	20,150	11,532,144	19,338	11,593,118	20,590	12,366,741	96.0	100.5	93.9	93.7	
任 意	建 物	県 南	棟 32,294	千円 398,806,270	棟 31,781	千円 390,898,350	棟 33,084	千円 408,291,750	% 98.4	% 98.0	% 96.1	% 95.7
		宮城中央	10,737	141,504,200	10,572	137,303,390	11,057	145,692,560	98.5	97.0	95.6	94.2
		六の国	9,537	122,261,370	9,338	118,282,980	9,832	125,996,080	97.9	96.7	95.0	93.9
		大 崎	15,462	164,810,030	15,476	164,068,960	15,921	169,660,480	100.1	99.6	97.2	96.7
		県 北	39,396	451,513,460	39,278	447,274,960	40,576	464,805,060	99.7	99.1	96.8	96.2
		小 計	107,426	1,278,895,330	106,445	1,257,828,640	110,470	1,314,445,930	99.1	98.4	96.4	95.7
	農 機 具	県 南	台 9,018	千円 23,465,170	台 8,379	千円 22,010,250	台 9,031	千円 23,455,080	% 92.9	% 93.8	% 92.8	% 93.8
		宮城中央	4,679	12,600,460	4,794	13,114,830	4,717	12,694,850	102.5	104.1	101.6	103.3
		六の国	3,388	9,351,190	3,366	9,648,500	3,403	9,397,960	99.4	103.2	98.9	102.7
		大 崎	6,025	17,249,900	6,061	17,521,750	6,071	17,352,930	100.6	101.6	99.8	101.0
		県 北	13,110	34,673,540	13,303	35,721,450	13,199	34,997,730	101.5	103.0	100.8	102.1
		小 計	36,220	97,340,260	35,903	98,016,780	36,421	97,898,550	99.1	100.7	98.6	100.1
	保 管 中 農 産 物 補 償	県 南	口 18	千円 18,000	口 20	千円 20,000	口 18	千円 18,000	% 111.1	% 111.1	% 111.1	% 111.1
		宮城中央	18	18,000	20	20,000	18	18,000	111.1	111.1	111.1	111.1
		六の国	7	7,000	9	9,000	7	7,000	128.6	128.6	128.6	128.6
		大 崎	38	38,000	41	41,000	38	38,000	107.9	107.9	107.9	107.9
		県 北	59	59,000	36	36,000	59	59,000	61.0	61.0	61.0	61.0
		小 計	140	140,000	126	126,000	140	140,000	90.0	90.0	90.0	90.0

区分	項目 支所名	被害又は事故					
		本年度		前年度		比較	
		被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金		
園芸施設	棟	円	棟	円	%		
	県南	145	7,765,418	239	13,981,428	55.5	
	宮城中央	48	20,640,436	68	2,374,486	869.3	
	六の国	83	5,185,611	205	22,036,037	23.5	
	大崎	135	4,651,865	197	12,136,452	38.3	
	県北	250	16,647,479	332	18,069,383	92.1	
	小計	661	54,890,809	1,041	68,597,786	80.0	
任意	建物	棟	円	棟	円	%	
		県南	2,262	1,798,153,838	1,482	927,217,299	193.9
		宮城中央	666	547,542,383	420	364,327,303	150.3
		六の国	444	171,475,347	571	240,682,789	71.2
		大崎	807	406,095,924	558	247,023,887	164.4
		県北	2,290	1,340,226,903	1,069	549,756,472	243.8
		小計	6,469	4,263,494,395	4,100	2,329,007,750	183.1
	農機具	台	円	台	円	%	
		県南	87	14,055,681	197	50,401,797	27.9
		宮城中央	66	9,961,710	74	12,106,280	82.3
		六の国	70	7,849,037	65	8,865,497	88.5
		大崎	67	15,315,828	78	23,113,648	66.3
		県北	196	39,823,870	184	32,507,687	122.5
小計		486	87,006,126	598	126,994,909	68.5	
保管中農産物補償	kg	円	kg	円	%		
	県南	0	0	0	0	—	
	宮城中央	0	0	0	0	—	
	六の国	0	0	0	0	—	
	大崎	0	0	0	0	—	
	県北	0	0	15,000	2,880,000	—	
	小計	0	0	15,000	2,880,000	—	

項目 区分	支所名	引受（加入）										
		計画		実績		前年度実績		達成率		前年度対比		
		引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	
家畜	死亡 廃用	頭	千円	頭	千円	頭	千円	%	%	%	%	
		県南	36,929	10,720,247	35,105	12,645,955	35,751	11,255,931	95.1	118.0	98.2	112.3
		宮城中央	7,910	2,327,992	7,876	2,628,503	7,934	2,484,515	99.6	112.9	99.3	105.8
		六の国	14,450	4,417,711	14,432	4,337,728	14,923	4,613,843	99.9	98.2	96.7	94.0
		大崎	20,266	5,782,827	20,859	5,910,999	20,809	5,795,710	102.9	102.2	100.2	102.0
		小計	156,368	58,031,738	153,338	60,126,176	157,084	59,796,743	98.1	103.6	97.6	100.6
	疾病 傷害	頭	千円	頭	千円	頭	千円	%	%	%	%	
		県南	9,590	145,557	9,548	131,569	9,787	141,513	99.6	90.4	97.6	93.0
		宮城中央	4,218	67,655	4,379	67,356	4,492	69,948	103.8	99.6	97.5	96.3
		六の国	8,040	131,471	7,936	129,179	8,238	135,758	98.7	98.3	96.3	95.2
		大崎	10,383	138,946	10,675	136,404	10,800	137,844	102.8	98.2	98.8	99.0
		小計	63,487	962,201	63,638	912,954	65,126	953,961	100.2	94.9	97.7	95.7
	家畜計	頭	千円	頭	千円	頭	千円	%	%	%	%	
		県南	46,519	10,865,804	44,653	12,777,524	45,538	11,397,444	96.0	117.6	98.1	112.1
		宮城中央	12,128	2,395,647	12,255	2,695,860	12,426	2,554,463	101.0	112.5	98.6	105.5
		六の国	22,490	4,549,182	22,368	4,466,907	23,161	4,749,601	99.5	98.2	96.6	94.0
		大崎	30,649	5,921,773	31,534	6,047,403	31,609	5,933,554	102.9	102.1	99.8	101.9
		小計	219,855	58,993,939	216,976	61,039,129	222,210	60,750,704	98.7	103.5	97.6	100.5
支所計	県南		442,402,168		434,807,868		452,762,297		98.3		96.0	
	宮城中央		160,954,225		157,292,465		165,549,452		97.7		95.0	
	六の国		139,956,280		135,961,103		144,208,126		97.1		94.3	
	大崎		196,148,734		196,570,734		201,617,002		100.2		97.5	
	栗原		539,275,968		536,025,444		554,566,505		99.4		96.7	
	合計		1,478,737,375		1,460,657,614		1,518,703,381		98.8		96.2	

（備考）計画については、第15回通常総代会で承認されたものを支所毎に表示している。

端数処理の関係で合計が必ずしも一致しない。

区分	項目	支所名	被害又は事故				比較
			本年度		前年度		
			被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金	
家畜	死亡 廃用	県南	頭 1,051	円 173,459,459	頭 999	円 185,874,212	93.3
		宮城中央	317	57,825,147	342	64,837,706	89.2
		六の国	838	130,128,456	827	142,650,980	91.2
		大崎	729	107,212,717	761	121,948,291	87.9
		県北	1,922	385,317,952	1,920	407,646,244	94.5
		小計	4,857	853,943,731	4,849	922,957,433	92.5
	疾病 傷害	県南	件 6,198	円 96,761,236	件 6,841	円 99,919,827	96.8
		宮城中央	3,061	41,725,123	3,454	47,060,542	88.7
		六の国	6,649	81,870,046	7,250	88,098,414	92.9
		大崎	5,575	73,040,393	5,611	67,945,000	107.5
		県北	22,043	287,178,287	21,813	297,376,180	96.6
		小計	43,526	580,575,085	44,969	600,399,963	96.7
	家畜計	県南		円 270,220,695		円 285,794,039	94.6
		宮城中央		99,550,270		111,898,248	89.0
		六の国		211,998,502		230,749,394	91.9
		大崎		180,253,110		189,893,291	94.9
		県北		672,496,239		705,022,424	95.4
		小計		1,434,518,816		1,523,357,396	94.2
支所計	県南		2,113,079,594		1,356,166,592	155.8	
	宮城中央		723,895,812		504,146,559	143.6	
	六の国		407,026,784		522,329,348	77.9	
	大崎		699,637,881		512,258,591	136.6	
	県北		2,145,224,244		1,328,822,746	161.4	
	合計		6,088,864,315		4,223,723,836	144.2	

(11) 業務関係

ア 重要な処理事項

年月日	処理事項
4 4.04	新規採用職員研修会（テレビ会議）（6日まで）
4 4.07	災害対策本部会議（福島県沖地震）
4 4.12	役員推薦会議（テレビ会議）
4 4.12	損害評価会農作物（水稲）共済部会（書面議決）
4 4.14	第1回広報委員会（テレビ会議）
4 4.14	農作物・畑作物共済担当課長及び担当者会議（テレビ会議）
4 4.15	定時（決算）監査（5月17日まで）
4 4.15	第1回資金運用委員会（余裕金運用管理委員会）（テレビ会議）
4 4.18	災害対策本部会議（新型コロナウイルス感染症）
4 4.19	北海道・東北地区参事会議（テレビ会議）
4 4.20	収入保険課長及び担当者会議（テレビ会議）
4 4.21	新規採用職員Excel基礎研修（オンライン）
4 4.21	全国広報参事等会議（テレビ会議）
4 4.22	全国連主催収入保険加入推進テレビ会議
4 4.22	建物共済担当課長及び班長会議（テレビ会議）
4 4.25	業務会議（テレビ会議）
4 4.26	事務費賦課承認事前協議、団体運営状況ヒアリング（県）
4 4.26	情報処理担当者会議（テレビ会議）
4 4.27	損害評価会畑作物共済部会（書面議決）
4 4.28	宮城県農業再生協議会管理運営委員会
4 4.28	家畜診療センター等所長会議
4 5.06	第1回理事会（テレビ会議）
4 5.06	功労者表彰候補者審査会
4 5.10	第2回理事会（テレビ会議）
4 5.10	第2回資金運用委員会（余裕金運用管理委員会）（テレビ会議）
4 5.10	全国連主催収入保険加入推進テレビ会議
4 5.11	NOSA I 宮城損害評価会委員及び損害評価員代表者会議
4 5.13	家畜診療センター等損防課長会議
4 5.18	不祥事件対策本部会議
4 5.19	北海道・東北地区組合長会議（テレビ会議）
4 5.19	果樹共済・園芸施設共済担当課長担当者会議（テレビ会議）
4 5.20	定時（決算）監査講評（テレビ会議）
4 5.24	第3回理事会（大崎市古川）
4 5.24	第15回通常総代会（大崎市三本木）
4 5.25	第1回コンプライアンス改善委員会（テレビ会議）
4 5.25	情報セキュリティ委員会（テレビ会議）
4 5.25	業務会議（テレビ会議）
4 5.26	宮城県農業保険推進協議会事務局連絡会
4 5.27	新役員協議会
4 5.27	情報処理担当者会議（テレビ会議）
4 5.27	全国連主催収入保険加入推進テレビ会議
4 5.27	令和5年度獣医師職員採用試験
4 5.30	事業等別（農作物共済・畑作物共済）職員研修会（テレビ会議）
4 5.30	家畜診療センター等事務担当者会議

年月日	処理事項
4 6.01	第1回監事会
4 6.01	第4回理事会
4 6.01	第3回資金運用委員会(余裕金運用管理委員会)
4 6.02	第2回広報委員会(テレビ会議)
4 6.02	広報担当課長担当者会議(テレビ会議)
4 6.06	家畜診療センター等所長会議
4 6.08	宮城県農業保険推進協議会通常総会
4 6.10	園芸施設共済加入推進会議(テレビ会議)
4 6.13	農林水産省主催家畜共済研修会(テレビ会議)
4 6.15	園芸施設共済担当課長担当者会議(テレビ会議)
4 6.15	損害評価会果樹共済部会(書面議決)
4 6.15	農林水産省主催果樹共済担当者会議(テレビ会議)
4 6.17	第1回組織運営委員会(テレビ会議)
4 6.20	家畜共済担当者会議(テレビ会議)
4 6.21	支所広報委員基礎研修会(22日まで)(テレビ会議)
4 6.21	全国連主催収入保険システム改修ブロック代表者会議(テレビ会議)
4 6.21	全国連主催収入保険に係るテレビ会議
4 6.23	三役会議
4 6.23	事業等別(収入保険)職員研修会(24日まで)(テレビ会議)
4 6.24	第2回監事会並びに第1回監事研修会
4 6.24	第1回全国特定組合長等会議(テレビ会議)
4 6.27	業務会議(テレビ会議)
4 6.28	第5回理事会
4 6.30	全国連主催収入保険加入推進テレビ会議
4 6.30	家畜共済担当課長・班長会議
4 7.05	東北地区広報セミナー(テレビ会議)
4 7.06	園芸施設共済・建物共済自然災害損害評価研修会(テレビ会議)(7日まで)
4 7.07	農林水産省主催果樹共済研修会(テレビ会議)
4 7.08	令和5年度職員採用試験(大卒等)
4 7.08	北海道・東北地区果樹共済担当者会議(テレビ会議)
4 7.08	家畜診療センター等所長会議
4 7.12	農林水産省主催園芸施設共済研修会(テレビ会議)
4 7.13	第1回全国参事会議(東京都)
4 7.13	事業等別(園芸施設共済)職員研修会(テレビ会議)
4 7.14	事務処理統一に係る情報資産管理台帳等更新事務会議(テレビ会議)
4 7.14	北海道・東北地区畑作物共済担当者会議(テレビ会議)
4 7.19	事業等別(総務)職員研修会(テレビ会議)
4 7.19	収入保険システム操作研修会(26日まで)
4 7.19	家畜診療所業務改善委員会会議
4 7.20	農林水産省主催農業保険外交員研修会(テレビ会議)
4 7.20	東北地区任意共済担当者会議(テレビ会議)
4 7.21	宮城県大雨被害三役現地調査
4 7.21	北海道・東北地区農作物共済担当者会議(テレビ会議)
4 7.25	業務会議(テレビ会議)
4 7.25	全国協会主催第1回管理職養成研修会(東京都)(8月5日まで)
4 7.26	第1回事業推進委員会・第4回資金運用委員会(余裕金運用管理委員会)(テレビ会議)

年月日	処理事項
4 7.26	全国連主催収入保険加入推進テレビ会議
4 7.26	農林水産省による宮城県大雨被害の現地調査
4 7.27	北海道・東北地区園芸施設共済担当者会議（テレビ会議）
4 7.27	家畜診療等技術体験発表会（28日まで）
4 7.28	三役会議
4 7.28	東北地区建物共済広域災害損害評価相互協力支援研修会（テレビ会議）
4 7.29	令和5年度獣医師職員採用試験
4 8.01	上半期自主点検（19日まで）
4 8.02	令和5年度職員採用試験（大卒等）二次試験
4 8.03	農作物共済・畑作物共済担当課長担当者会議（テレビ会議）
4 8.04	役員協議会（テレビ会議）
4 8.04	第6回理事会（テレビ会議）
4 8.04	役員研修会（テレビ会議）
4 8.07	収入保険説明会及び加入申請受付会
4 8.09	人事考課者研修会（10日まで）（テレビ会議）
4 8.09	懲戒委員会委員長・副委員長と三役による打合せ
4 8.17	不祥事件対策本部会議
4 8.18	全国協会主催第1回任意共済事業推進担当者会議（テレビ会議）
4 8.19	農議連との農業保険事業要請報告及び情報交換会
4 8.19	北海道・東北地区収入保険担当者会議（テレビ会議）
4 8.19	農作物共済損害評価研修会（テレビ会議）
4 8.22	職員懲戒委員会（テレビ会議）
4 8.22	農業共済事業共通申請サービス説明会（テレビ会議）
4 8.22	全国協会主催建物共済損害評価技術研修会（千葉県）（26日まで）
4 8.23	常例検査現物検査（24日まで）
4 8.23	収入保険テレビ会議
4 8.24	第7回理事会（テレビ会議）
4 8.24	第3回広報委員会（テレビ会議）
4 8.25	第2回コンプライアンス改善委員会（テレビ会議）
4 8.25	業務会議（テレビ会議）
4 8.26	「安心の未来」拡充運動全国推進会議（テレビ会議）
4 8.26	事業等別（家畜共済）職員研修会（テレビ会議）
4 8.29	農業共済新聞東北版及び東北営農技術版編集会議（テレビ会議）
4 8.29	収入保険事業の委託業務に係る全国連現地調査（30日まで）
4 8.30	収入保険に係る共通申請サービスシステム操作研修会（テレビ会議）
4 8.30	全国連主催収入保険加入推進テレビ会議
4 8.31	情報処理担当者会議（テレビ会議）
4 8.31	家畜診療センター等所長会議
4 9.02	全国協会主催第1回事業運営検討会（収入保険関係）（テレビ会議）
4 9.02	農機具共済料率算定WT（運用基準検討G）
4 9.07	全国協会並びに全国連第4回理事会及び臨時総会（東京都）
4 9.07	第2回全国特定組合長等会議（東京都）
4 9.07	三本木庁舎賃貸に係る打合せ（テレビ会議）
4 9.08	全国連主催収入保険担当者研修会（テレビ会議）（9日まで）
4 9.09	収入保険課長及び担当者会議（テレビ会議）
4 9.21	事務処理統一に係る情報資産管理台帳等更新事務会議（テレビ会議）

年月日	処理事項
4 9.21	表彰審査会
4 9.26	業務会議（テレビ会議）
4 9.27	北海道・東北地区総務経理担当者会議（テレビ会議）
4 9.27	畑作物共済損害評価研修会（テレビ会議）
4 9.29	全国連主催収入保険加入推進テレビ会議
4 9.29	家畜診療センター等所長会議
4 9.30	第3回監事会
4 9.30	常例検査並びに要請検査に係る打合せ（テレビ会議）
4 9.30	全国連主催収入保険システムの改修に係るブロック代表担当者会議（テレビ会議）
4 9.30	令和5年度獣医師職員採用試験
4 10.03	上半期内部監査（31日まで）
4 10.03	家畜診療所業務改善委員会
4 10.04	第2回事業運営検討会（収入保険関係）（テレビ会議）
4 10.05	収入保険システムの改修に係る東北ブロック担当者会議（テレビ会議）
4 10.06	第2回全国参事会議（東京都）
4 10.06	第4回広報委員会（テレビ会議）
4 10.12	県との不祥事件ヒアリング
4 10.13	中央支所統合等打合せ
4 10.13	北海道・東北地区家畜共済協議会（秋田県）
4 10.13	建物農機具共済担当課長担当者会議（テレビ会議）
4 10.17	常例検査・要請検査（28日まで）
4 10.21	全国連主催収入保険加入推進テレビ会議
4 10.25	任意共済全国研修会（テレビ会議）
4 10.28	常例検査・要請検査講評（テレビ会議）
4 11.01	定時（中間）監査（22日まで）
4 11.01	業務会議（テレビ会議）
4 11.01	農業簿記検定研修会（テレビ会議）（2日まで）
4 11.01	第3回事業運営検討会（組織・収入保険合同）（テレビ会議）
4 11.02	第2回事業推進委員会・第5回資金運用委員会（余裕金運用管理委員会）（テレビ会議）
4 11.02	農機具共済損害評価研修会（テレビ会議）
4 11.04	三役会議
4 11.04	収入保険課長会議（テレビ会議）
4 11.08	第8回理事会（テレビ会議）
4 11.09	全国協会並びに全国連第5回理事会及び臨時総会（東京都）
4 11.11	農林水産省主催法令等研修会（テレビ会議）
4 11.13	収入保険説明会及び加入申請受付会
4 11.14	総務（給与）担当者会議（テレビ会議）
4 11.18	令和5年度職員採用試験（高卒及び追加募集）
4 11.18	NOSA I宮城職員大会（テレビ会議）
4 11.24	事業等別（果樹共済）職員研修会（テレビ会議）
4 11.24	「安心の未来」拡充運動全国NOSA I大会（東京都）
4 11.24	家畜診療センター等所長会議
4 11.25	家畜共済担当課長・班長・担当者会議（テレビ会議）
4 11.25	監査調書の整理
4 11.27	農業簿記検定試験
4 11.28	第3回コンプライアンス改善委員会（テレビ会議）

年月日	処 理 事 項
4 11.28	情報セキュリティ委員会（テレビ会議）
4 11.28	業務会議（テレビ会議）
4 11.29	損害評価会果樹共済部会（なし）（テレビ会議）
4 11.30	損害評価会農作物（水稲）共済部会（テレビ会議）
4 11.30	定時（中間）監査講評（テレビ会議）
4 11.30	全国共済主催システム管理者養成研修会（東京都）（12月2日まで）
4 11.30	全国連主催収入保険加入推進テレビ会議
4 12.01	宮城県農業保険推進協議会事務局連絡会
4 12.02	令和5年度職員採用試験（高卒及び追加募集）二次試験
4 12.02	三役会議
4 12.05	収入保険課長会議（テレビ会議）
4 12.05	全国協会主催建物共済専門講習会（東京都）（9日まで）
4 12.06	家畜診療診療所業務改善委員会
4 12.06	宮城県議会議員（農議連）への農業保険制度説明会
4 12.07	第9回理事会（テレビ会議）
4 12.09	農林水産省主催経理研修会（テレビ会議）
4 12.14	総務課長会議（テレビ会議）
4 12.15	不祥事件対策本部会議
4 12.16	建物農機具共済担当課長担当国会議（テレビ会議）
4 12.19	資格等級審査委員会
4 12.19	家畜診療センター等所長会議
4 12.20	損害評価会農作物（麦）共済部会（テレビ会議）
4 12.20	家畜共済担当課長・班長会議（テレビ会議）
4 12.21	農作物・畑作物共済及び果樹・園芸施設共済担当課長担当国会議（テレビ会議）（22日まで）
4 12.22	令和5年度採用職員（家畜人工授精師）採用試験
4 12.23	業務会議（テレビ会議）
4 12.23	第5回広報委員会（テレビ会議）
4 12.23	全国協会主催第2回任意共済事業推進担当国会議（テレビ会議）
4 12.26	全国協会並びに全国連第6回理事会及び第3回特定組合長等会議（東京都）
4 12.26	情報処理担当国会議（テレビ会議）
4 12.26	収入保険感謝状贈呈（角田市）
4 12.28	家畜診療センター等所長会議
5 1.11	全国連主催収入保険テレビ会議
5 1.16	改善状況確認調査（30日まで）
5 1.16	農水省主催令和5年度に向けた家畜共済説明会（テレビ会議）
5 1.16	家畜診療センター等所長会議
5 1.17	全国協会主催第2回管理職研修会（東京都）（20日まで）
5 1.17	農業新聞東北版及び営農技術版編集会議（テレビ会議）
5 1.17	全国協会主催第1回家畜診療所運営検討委員会（テレビ会議）
5 1.18	建物農機具共済年次更新システム研修会（テレビ会議）
5 1.19	第2回組織運営委員会（テレビ会議）
5 1.19	収入保険課長会議（テレビ会議）
5 1.20	収入保険支払事務研修会（テレビ会議）
5 1.23	建物農機具共済担当課長担当国会議（テレビ会議）
5 1.24	損害評価会果樹共済部会（りんご）（テレビ会議）
5 1.25	業務会議（テレビ会議）

年月日	処 理 事 項
5 1.25	全国協会主催農業保険システムのWeb化開発状況説明会（テレビ会議）
5 1.25	農林水産省による収入保険と野菜価格安定対策制度との同時利用に関する現地調査（26日まで）
5 1.26	第4回監事会並びに第2回監事研修会
5 1.26	第6回広報委員会（テレビ会議）
5 1.27	第3回事業推進委員会・第6回資金運用委員会（余裕金運用管理委員会）（テレビ会議）
5 1.27	農水省主催農業保険担当者及び組合等総務・指導担当者合同会議（テレビ会議）
5 1.30	全国協会主催第3回普及推進研修会（東京都）（2月3日まで）
5 2.01	下半期自主点検（17日まで）
5 2.02	北海道・東北地区事務機械化担当者会議（テレビ会議）
5 2.03	令和5年度獣医師職員採用試験
5 2.07	三役会議
5 2.07	建物共済損害評価研修会（テレビ会議）
5 2.08	損害評価会畑作物共済部会（テレビ会議）
5 2.09	北海道・東北地区参事会議（テレビ会議）
5 2.09	コンプライアンス研修会（一般職）（テレビ会議）（10日まで）
5 2.09	宮城県農業保険推進協議会事務局連絡会
5 2.10	損害評価会家畜共済部会・家畜委診療所運営委員会
5 2.13	収入保険感謝状贈呈（蔵王町）
5 2.14	第5回監事会
5 2.14	第10回理事会（テレビ会議）
5 2.14	全国連主催収入保険に係るテレビ会議
5 2.15	農業共済新聞全国研修集会（東京都）
5 2.16	第3回全国参事会議（東京都）
5 2.16	全国広報委員会会議（東京都）
5 2.16	コンプライアンス研修会（管理職）（テレビ会議）（17日まで）
5 2.17	家畜診療センター等業務担当者会議
5 2.20	家畜共済担当課長・班長会議（テレビ会議）
5 2.22	コンプライアンス改善委員会（テレビ会議）
5 2.22	業務会議（テレビ会議）
5 2.22	農林水産省主催園芸施設共済加入推進会議（テレビ会議）
5 2.22	農林水産省主催農作物・畑作物共済研修会（テレビ会議）
5 2.24	家畜診療センター等所長会議
5 2.28	三役会議
5 2.28	全国協会主催第3回管理職研修会（東京都）（3月3日まで）
5 2.28	全国連主催収入保険テレビ会議
5 3.01	下半期内部監査（14日まで）
5 3.01	全国協会主催共通申請サービス受入テスト説明会（テレビ会議）
5 3.01	宮城県農業保険推進協議会臨時総会
5 3.01	指定獣医師等連絡会議（テレビ会議）
5 3.02	第3回組織運営委員会（テレビ会議）
5 3.02	全国協会主催第2回家畜診療所運営検討委員会（東京都）
5 3.03	全国協会第7回理事会並びに全国連第8回理事会（東京都）
5 3.06	三役会議
5 3.09	第11回理事会（大崎市三本木）
5 3.09	第6回監事会（大崎市三本木）
5 3.10	総務課長会議（テレビ会議）

年月日	処 理 事 項
5 3.13	経理担当者会議（テレビ会議）
5 3.14	内部情報システム操作説明会（テレビ会議）15日まで
5 3.14	事業等別（家畜共済）職員研修会（新任者）（テレビ会議）
5 3.15	全国協会主催NOSA I 情報化全国会議（テレビ会議）
5 3.15	事業等別（建物共済）職員研修会（テレビ会議）
5 3.16	内部情報システム操作説明会（家畜診療センター）（テレビ会議）
5 3.16	収入保険インターネット申請研修会
5 3.17	収入保険インターネット申請推進会議
5 3.17	事業等別（農機具共済）職員研修会（テレビ会議）
5 3.17	全国協会主催第3回任意共済事業推進担当者会議（テレビ会議）
5 3.22	第16回臨時総代会（テレビ会議）
5 3.22	内部情報システム操作説明会（家畜診療センター）（テレビ会議）
5 3.23	全国協会並びに全国連臨時総会及び第4回特定組合長等会議（東京都）
5 3.23	業務会議（テレビ会議）
5 3.24	第4回事業推進委員会（テレビ会議）
5 3.24	三役会議
5 3.24	家畜診療センター等所長会議
5 3.27	第4回組織運営委員会（テレビ会議）
5 3.27	情報処理担当者会議（テレビ会議）
5 3.28	全国連主催収入保険テレビ会議
5 3.28	果樹共済・園芸施設共済担当課長担当者会議（テレビ会議）
5 3.29	収入保険課長及び担当者会議（テレビ会議）
5 3.30	第7回監事会
5 3.30	第12回理事会並びに第2回役員協議会

イ 総代会

(ア) 第15回通常総代会

(令和4年5月24日 大崎市三本木総合支所 ふれあいホール)

総代会当日現在総代数	A	301 人	出席率
本人出席	B	23 人	B/A 7.6 %
代理出席		0 人	
書面出席		277 人	
出席者計	C	300 人	C/A 99.7 %

議事及び議決事項

- 1 事業規程の一部変更について
- 2 令和3年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び不足金処理案の承認について
- 3 令和4年度事業計画設定の承認について
- 4 令和4年度事務費の賦課額及び賦課方法について
- 5 令和4年度役員、顧問弁護士及び共済部長の報酬額の決定について
- 6 令和4年度における借入金の最高限度額、借入利率及び償還方法の決定について
- 7 令和4年度余裕金預入先金融機関の承認について
- 8 役員を選任について
- 9 附帯決議

(イ) 第16回臨時総代会 (テレビ会議)

(令和5年3月22日 農業共済ビル会議室及び各支所会議室)

総代会当日現在総代数	A	300 人	出席率
本人出席	B	10 人	B/A 3.3 %
代理出席		0 人	
書面出席		288 人	
出席者計	C	298 人	C/A 99.3 %

議事及び議決事項

- 1 事業規程の一部変更について
- 2 家畜共済危険段階別共済掛金率の設定について

ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増減
67,499 人	65,628 人	△ 1,871 人

エ 役職員その他

(ア) 役員

理事			監事	合計
常勤	非常勤	計		
1人	15人	16人	3人	19人

(イ) 職員

	参事	支所長	監査室	総務	収入保険	農作物	畑作物	果樹	園芸施設	家畜	建物	農機具	診療センター	研修所	計
男	1	8	1	23	22	28	12	8	8	40	23	17	18	3	212
女				15	4	1		2	4	6	7	2	14	1	56
計	1	8	1	38	26	29	12	10	12	46	30	19	32	4	268

※職員数には専門員、嘱託職員、臨時職員を含んでいません。

(職員の勤務場所別職員数)

	本所	県南支所	宮城中央支所	六の国支所	大崎支所	県北支所	県南家畜診療センター	中央家畜診療センター	県北家畜診療センター	家畜診療研修所	計
男	33	30	21	16	30	61	5	5	8	3	212
女	9	11	0	3	2	16	3	6	5	1	56
計	42	41	21	19	32	77	8	11	13	4	268

(ウ) 総代、共済部長、損害評価会委員、損害評価員

総代	共済部長	損害評価会委員	損害評価員	家畜診療所運営委員
300人	3,525人	685人	3,601人	5人

(損害評価会委員、損害評価員の内訳：延人数)

	水稻	麦	家畜	果樹	大豆	蚕繭	園芸施設	任意
損害評価会委員	676人	※13人	※6人	37人	※14人	3人	※8人	※4人
損害評価員	3,515	0	0	29	0	0	55	11

※各部会の構成人数